

データプロジェクター 表記ガイドライン

＜第4版＞

2014年（平成26年）7月 改訂

一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会

プロジェクター用語分科会

目次

| | |
|--------------------------------------|----|
| 1. 目的 | 3 |
| 2. 適用範囲..... | 3 |
| 3. 表記方法..... | 3 |
| 3.1. 取扱説明書類における本体の部位 | 3 |
| 3.1.1. 英語表記..... | 4 |
| 3.1.2. 日本語表記 | 6 |
| 3.2. 取扱説明書類における付属品 | 8 |
| 3.2.1. 英語表記..... | 8 |
| 3.2.2. 日本語表記 | 8 |
| 3.3. 本体およびリモコンの操作ボタン類 | 9 |
| 3.3.1. 英語表記..... | 9 |
| 3.3.2. 日本語表記 | 10 |
| 3.4. 本体の信号入出力端子 | 12 |
| 3.4.1. 英語表記..... | 12 |
| 3.4.2. 日本語表記 | 13 |
| 3.5. 本体のインジケータ | 15 |
| 3.5.1. 英語表記..... | 15 |
| 3.5.2. 日本語表記 | 15 |
| 3.6. メニューに表示される機能 | 16 |
| 3.6.1. 英語表記..... | 16 |
| 3.6.2. 日本語表記 | 17 |
| 3.7. 電源操作に関する機能..... | 19 |
| 3.7.1. 英語表記..... | 19 |
| 3.7.2. 日本語表記 | 19 |
| 3.8. 投写画面のアスペクト比に関する機能 | 20 |
| 3.8.1. 英語表記..... | 20 |
| 3.8.2. 日本語表記 | 20 |
| 3.8.3. 投写画面のアスペクト比設定例 | 21 |
| 4. 運用規定..... | 22 |
| 5. 解説 | 22 |
| 6. 商標について..... | 22 |
| 7. 改訂履歴..... | 23 |
| データプロジェクター部会委員 構成表 (50 音順・敬称略) | 24 |
| プロジェクター用語分科会委員 構成表 (50 音順・敬称略) | 24 |

1. 目的

本ガイドラインは、ユーザがわかりやすく操作できるように、各社製品上の表記を統一することを目的とする。

2. 適用範囲

本ガイドラインはデータプロジェクターにおける英語および日本語による以下の表記を対象とする。他の言語による表記では、英語あるいは日本語を基準とした翻訳を行うものとする。

- 取扱説明書類における本体の部位名称および付属品
- 本体およびリモコンの操作ボタン類
- 本体の信号入出力端子
- 本体のインジケータ
- メニューに表示される機能
- 電源操作に関連する機能
- 投写画面のアスペクト比に関する機能

ここで言うデータプロジェクターとは、一般的な会議や教育現場での使用を目的とし、コンピュータ入力端子を有し、コンピュータ等の映像を拡大投写できるフロント投写方式のプロジェクターを指す。

3. 表記方法

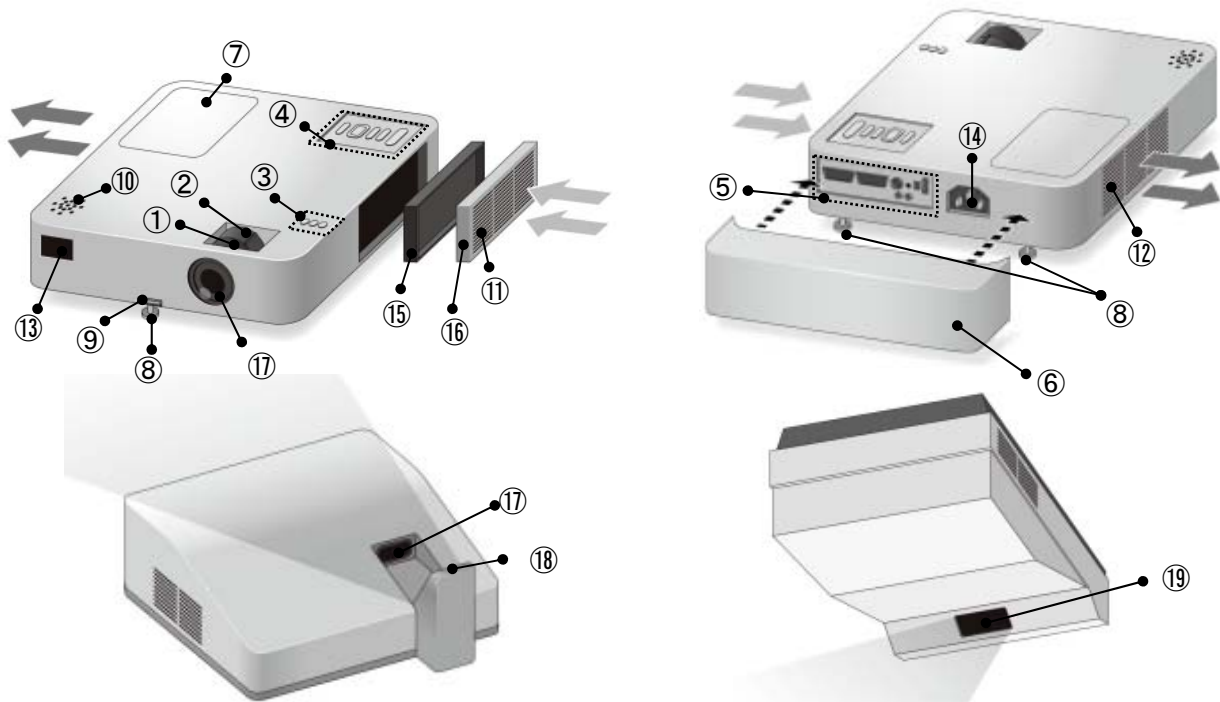
下記の表記についてはメーカー独自の判断でよい。

- ※ 表に記載されていない名称
- ※ 表に記載されているすべての名称を記載・説明の要否
- ※ アイコンによる代用表記
- ※ 大文字、小文字、スペースや、ピリオド(.)、スラッシュ(/)、ハイフン(－)等を用いた表記
- ※ メーカー独自の機能
- ※ 英語表記ガイドラインのアルファベットやカタカナや長音による日本語表記
アルファベットによる日本語表記例： 英語) STANDBY、日本語) STANDBY
カタカナによる日本語表記例： 英語) STANDBY、日本語) スタンバイ
長音による日本語表記例： 英語) COMPUTER、日本語) コンピューター

3.1. 取扱説明書類における本体の部位

- ※ 本箇条で用いているイラストは本ガイドラインにて定義する部位の確認のための概念図である。
- ※ 記載スペースに不都合がある場合に限り、メーカー任意の省略形の記載も可とする。
(例:”INPUT / OUTPUT” → “I/O”)
- ※ 定義された表記では不十分な場合に限り、メーカー判断により前後に単語あるいはその省略形の付加も可とする。
- ※ 定義された部位に対し、場所や調整を示す用語の付加も可とし、その形容の仕方についてはメーカー判断とする。(英語例:FOOT→ REAR ADJUSTABLE FOOT。日本語例:フット→ 後部角度調整脚)

3.1.1. 英語表記



上記イラストを無断で転載することは固くお断りいたします。

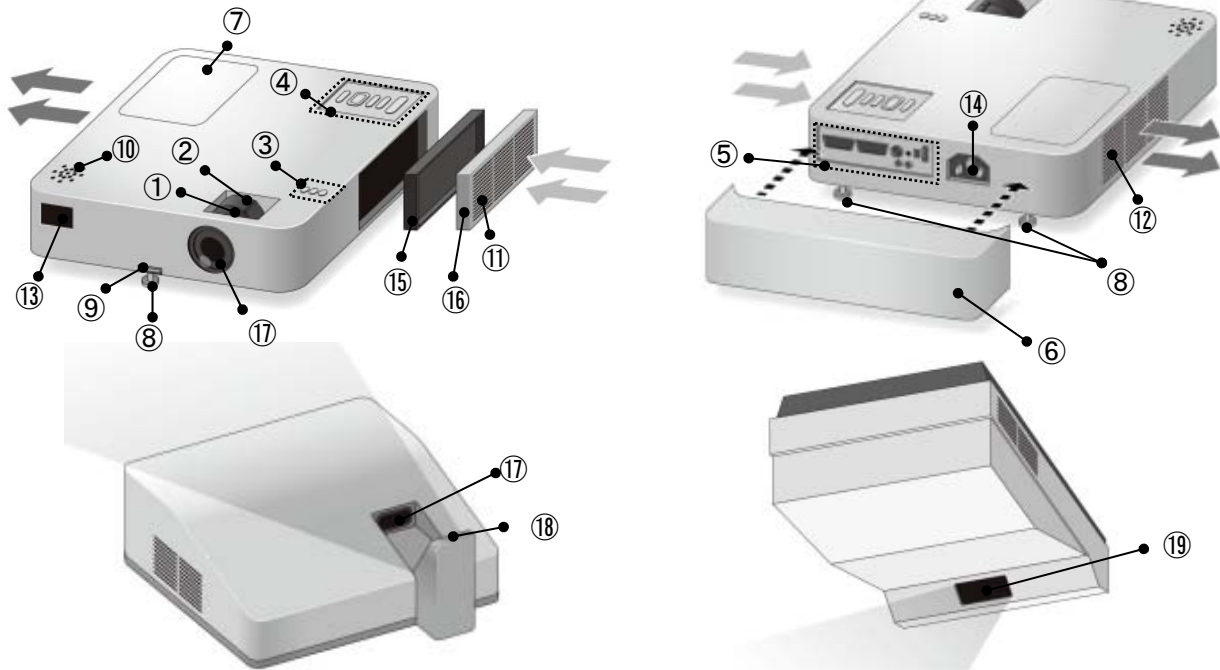
| | 部位説明 | 表記方法 | 表記例 |
|---|----------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
| ① | 画面のフォーカス調整の操作部位 | “FOCUS”を含んだ表記 | FOCUS RING FOCUS LEVER |
| ② | 画面全体の拡大・縮小の操作部位 | “ZOOM”を含んだ表記 | ZOOM RING ZOOM LEVER |
| ③ | 本体の状態を示すためのインジケータ | “INDICATOR”を含んだ表記 | POWER INDICATOR INDICATOR PANEL |
| ④ | 本体の操作を行うためのボタンエリアの総称 | “CONTROL” あるいは ”OPERATION”を含んだ表記 | CONTROLS OPERATION PANEL |
| ⑤ | 入出力端子部の総称 | PORT TERMINAL INPUT / OUTPUT | PORTS TERMINALS I/O PANEL |
| ⑥ | 入出力端子部やケーブル類を覆い隠す部位 | CABLE COVER TERMINAL COVER | CABLE COVER TERMINAL COVER |
| ⑦ | ランプユニットを覆い隠す部位 | LAMP COVER LAMP UNIT COVER | LAMP COVER |
| ⑧ | 本体の傾きや高さを調整する部位 (*A) | “FOOT”を含んだ表記 | FRONT FOOT ADJUSTABLE FEET |

| | 部位説明 | 表記方法 | 表記例 |
|---|-------------------------|--|--|
| ⑨ | 本体の傾きや高さを調整するためのボタンやレバー | “FOOT”あるいは“調整を示す用語”と”構造名称”を含んだ表記 | FOOT LEVER ADJUSTABLE LEVER |
| ⑩ | 本体内蔵のスピーカ | SPEAKER | SPEAKER |
| ⑪ | 冷却用の外部空気取り入れ口 | “INTAKE”を含んだ表記 | INTAKE VENT INTAKE PORT |
| ⑫ | 本体内部の排熱口 | “EXHAUST”を含んだ表記 | EXHAUST VENT EXHAUST PORT |
| ⑬ | リモコンの受信・受光部(*B) | REMOTE CONTROL SENSOR REMOTE CONTROL RECEIVER | REMOTE CONTROL SENSOR REMOTE CONTROL RECEIVER |
| ⑭ | 本体に電源コードを接続するための部位 | “AC”あるいは”POWER”を含んだ表記 | AC IN TERMINAL POWER SOCKET |
| ⑮ | 本体内部への粉塵の流入を防ぐフィルタ | “FILTER”を含んだ表記 | FILTER AIR FILTER |
| ⑯ | フィルタを覆う部位 | FILTER COVER | FILTER COVER |
| ⑰ | 投写用レンズ部 | “LENS”を含んだ表記 | LENS PROJECTION LENS |
| ⑱ | 投写光の反射用の鏡面部 | “MIRROR”を含んだ表記 | MIRROR |
| ⑲ | 本体内部で反射された投写光の出力部 | PROJECTION WINDOW | PROJECTION WINDOW |

*A:調整を示す用語の付加はメーカー任意とする。

*B:1)赤外線などの信号種別の付加も可とする。2)REMOTE だけの表記も可とする。3)リモコン側の送信・発光部の用語は ”TRANSMITTER”あるいは”EMITTER”を含んだ表記とすること。

3.1.2. 日本語表記



上記イラストを無断で転載することは固くお断りいたします。

| | 部位説明 | 表記方法 | 表記例 |
|---|----------------------|----------------------------|----------------------|
| ① | 画面のフォーカス調整の操作部位 | “フォーカス”を含んだ表記 | フォーカスリング フォーカスレバー |
| ② | 画面全体の拡大・縮小の操作部位 | “ズーム”を含んだ表記 | ズームリング ズームレバー |
| ③ | 本体の状態を示すためのインジケータ | “インジケータ”を含んだ表記 | 電源インジケータ インジケータ部 |
| ④ | 本体の操作を行うためのボタンエリアの総称 | “操作部”あるいは ”操作パネル”を含んだ表現 | 操作部 操作パネル |
| ⑤ | 入出力端子部の総称 | “端子”を含み、総称とわかる表記 | 接続端子部 入出力端子パネル |
| ⑥ | 入出力端子部やケーブル類を覆い隠す部位 | ケーブルカバー 端子カバー | ケーブルカバー 端子カバー |
| ⑦ | ランプユニットを覆い隠す部位 | ランプカバー ランプユニットカバー | ランプカバー ランプユニットカバー |
| ⑧ | 本体の傾きや高さを調整する部位 (*A) | “脚”を含んだ表現 | 調整脚 後部調整脚 |

| | 部位説明 | 表記方法 | 表記例 |
|---|-------------------------|-----------------------------------|------------------------------|
| ⑨ | 本体の傾きや高さを調整するためのボタンやレバー | “脚”あるいは“調整を示す用語”と “構造名称”を含んだ表記 | 脚ボタン 高さ調整レバー 角度調整用ボタン |
| ⑩ | 本体内蔵のスピーカ | スピーカ | スピーカ |
| ⑪ | 冷却用の外部空気 取り入れ口 | 吸気口 吸気孔 | 吸気口 吸気孔 |
| ⑫ | 本体内部の排熱口 | 排気口 排気孔 | 排気口 排気孔 |
| ⑬ | リモコンの受信・受光部 (*B) | リモコン受光部 リモコン受信部 | リモコン受光部 リモコン受信部 |
| ⑭ | 本体に電源コードを接続 するための部位 | “AC”あるいは“電源”を含んだ表記 | AC IN 端子 電源端子 電源コード接続部 |
| ⑮ | 本体内部への粉塵の流入 を防ぐフィルタ | “フィルタ”を含んだ表記 | フィルタ |
| ⑯ | フィルタを覆う部位 | フィルタカバー | フィルタカバー |
| ⑰ | 投写用レンズ部 | “レンズ”を含んだ表記 | レンズ 投写レンズ |
| ⑱ | 投写光の反射用の 鏡面部 | “ミラー”を含んだ表記 | ミラー |
| ⑲ | 本体内部で反射された投 写光の出力部 | “窓”を含んだ表記 | 投写窓 投映窓 |

*A:調整を示す用語の付加はメーカー任意とする。

*B:1)赤外線などの信号種別の付加はメーカー任意とする。2)リモコン側の用語は “送信部”、“発信部”あるいは
“発光部”を含んだ表記とすること。

3.2. 取扱説明書類における付属品

3.2.1. 英語表記

| 対象 | 表記例 | 備考 |
|------------|--|---|
| 電源コード | POWER CORD | “POWER CABLE”も可とする |
| コンピュータケーブル | COMPUTER CABLE COMPUTER CABLE (D-sub15) | 端子形状の情報付加はメーカー任意とする |
| DVI-D ケーブル | DVI-D CABLE | 端子の種類がわかるように ”-D”の表記を省略しない |
| DVI-I ケーブル | DVI-I CABLE | 端子の種類がわかるように ”-I”の表記を省略しない |
| HDMI ケーブル | HDMI CABLE | |
| USB ケーブル | USB CABLE | |
| レンズ保護部材 | LENS CAP LENS COVER | |
| リモコン | REMOTE CONTROL REMOTE | ① 有線・無線の付加はメーカー任意とする ② 信号種別の付加はメーカー任意とする |

3.2.2. 日本語表記

| 対象 | 表記例 | 備考 |
|------------|-----------------------------------|---|
| 電源コード | 電源コード | “電源ケーブル”も可とする |
| コンピュータケーブル | コンピュータケーブル コンピュータケーブル(D-sub15) | 端子形状の情報付加はメーカー任意とする |
| DVI-D ケーブル | DVI-D ケーブル | 端子の種類がわかるように ”-D”の表記を省略しない |
| DVI-I ケーブル | DVI-I ケーブル | 端子の種類がわかるように ”-I”の表記を省略しない |
| HDMI ケーブル | HDMI ケーブル | |
| USB ケーブル | USB ケーブル | |
| レンズ保護部材 | レンズキャップ レンズカバー | |
| リモコン | リモコン | ① 有線・無線の付加はメーカー任意とする ② 信号種別の付加はメーカー任意とする |

3.3. 本体およびリモコンの操作ボタン類

※ 記載スペースに不都合がある場合に限り、メーカー任意の省略形の記載も可とする。

※ 定義された表記では不十分な場合に限り、メーカー判断により前後に単語あるいはその省略形の付加も可とする。(例:COMPUTER 1 等)

※ 複数の単語からなる表記については、メーカー判断によりグループ化した表記や分割した表記も可とする。

3.3.1. 英語表記

| 対象 | 表記方法 | 備考 |
|--------------------|-------------------------------|---|
| 主電源 | MAIN ON OFF | 各種規格(安全規格等)に準拠すること |
| 電源 | POWER STANDBY ON OFF | 各種規格(安全規格等)に準拠すること |
| 入力切替 | INPUT SOURCE | |
| 個別映像切替 (直接映像切替) | COMPUTER VIDEO S-VIDEO | 左記以外の入力については、本体の信号 入出力端子に合わせた表記を基本とする |
| フォーカス | FOCUS | 手動、電動駆動を示す表記はメーカー任意と する |
| ズーム | ZOOM | ① 手動、電動駆動を示す表記はメーカー任 意とする ② “ZOOM”は画面全体の拡大・縮小の 機能を指す(画面一部の拡大・縮小機 能ではない) |
| レンズシフト | LENS SHIFT | 手動、電動駆動を示す表記はメーカー任意と する |
| メニュー | MENU | |
| キーストーン補正 | KEystone | |
| 映像非表示 | BLANK | 映像のみを非表示とする機能を指す |
| 消音 | MUTE MUTING | |

| 対象 | 表記方法 | 備考 |
|-------------------|--|---|
| 映像非表示＋消音 | AV MUTE AV MUTING BLANK | ① AUDIO と VISUAL 消去から、 “AV MUTE”または“AV MUTING”を 可とする ② 映像非表示が主機能で音声消去は副 機能ということから“BLANK”を可とする |
| 投写画面のアスペク ト比切替 | RESIZE ASPECT | |
| 部分拡大 | MAGNIFY “ZOOM”を含んだ表記 (D.ZOOM、E-ZOOM 等) | ① “部分拡大”は画面の一部を拡大・縮 小する機能を指す ② “ZOOM”を含んだ表記とする場合に は、画面全体の拡大・縮小機能と区別 する用語を付加すること |
| ページ送り ページ戻し | “PAGE”を含んだ表記 (PAGE UP/DOWN, PAGE +/-) | 送り・戻しに相当する表記はメーカー任意と する |
| 静止 | FREEZE | |
| 音量調整 | VOLUME | 省略する場合は、“VOL”, “VOL.”とする |

3.3.2. 日本語表記

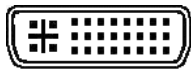
| 対象 | 表記方法 | 備考 |
|--------------------|--------------------------|--|
| 主電源 | 主電源 電源スイッチ 入 切 | 各種規格(安全規格等)に準じること 電源ボタンと区別ができること |
| 電源 | 電源 待機、スタンバイ 入 切 | 各種規格(安全規格等)に準じること 主電源と区別ができること |
| 入力切替 | “入力”を含んだ表記 インプット | |
| 個別映像切替 (直接映像切替) | コンピュータ ビデオ S-ビデオ | 左記以外の入力については、本体の信号 入出力端子に合わせた表記を基本とする |

| 対象 | 表記方法 | 備考 |
|----------------|--------------------------------------|--|
| フォーカス | フォーカス 焦点 | 手動、電動駆動を示す表記はメーカー任意とする |
| ズーム | ズーム | ① 手動、電動駆動を示す表記はメーカー任意とする ② “ズーム”は画面全体の拡大・縮小の機能を指す(画面一部の拡大・縮小機能ではない) |
| レンズシフト | レンズシフト | 手動、電動駆動を示す表記はメーカー任意とする |
| メニュー | メニュー | |
| キーストーン補正 | “台形”を含んだ表記 キーストーン | “台形”を用いる場合、補正や調整を意味する単語と組み合わせた表記とする |
| 映像非表示 | ブランク 映像消去 | 映像のみを非表示とする機能を指す |
| 消音 | ミュート 消音 | |
| 映像非表示＋消音 | AV ミュート ブランク | 映像非表示が主機能で音声消去は副機能ということから“ブランク”を可とする |
| 投写画面のアスペクト比切替 | リサイズ アスペクト | |
| 部分拡大 | “ズーム”または“拡大”を含んだ表記 (D.ズーム、E-ズーム等) | ① 部分拡大は画面の一部を拡大・縮小する機能を指す ② 画面全体の拡大・縮小機能と区別する用語を付加すること |
| ページ送り ページ戻し | “ページ”を含んだ表記 (ページ送り、ページ戻し等) | 送り・戻しに相当する表記はメーカー任意とする |
| 静止 | 静止 フリーズ | |
| 音量調整 | 音量 | |

3.4. 本体の信号入出力端子

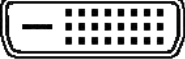
- ※ 記載スペースに不都合がある場合に限り、メーカー任意の省略形の記載も可とする。
- ※ 定義された表記では不十分な場合に限り、メーカー判断により前後に単語あるいはその省略形の付加も可とする。(例:COMPUTER 1, AUDIO IN 等)
- ※ 複数の単語からなる表記については、メーカー判断によりグループ化した表記や分割した表記も可とする。
- ※ 変換ケーブルを用いて入力する信号の記載はメーカー任意とする。

3.4.1. 英語表記

| 対象 | 対応信号 | 表記方法 | 備考 |
|--|------------------------------------|--------------------|---|
| Mini D-sub 15 pin  | コンピュータ入力信号 | COMPUTER | |
| Mini D-sub 15 pin  | コンピュータ出力信号 | MONITOR OUT | |
| DVI-D  | DVI (デジタル) | DVI-D | 端子の種類がわかるように “-D”の表記を省略しない |
| DVI-I  | DVI (アナログ/デジタル) | DVI-I | 端子の種類がわかるように “-I”の表記を省略しない |
| RCA  | コンポジットビデオ信号 | VIDEO | |
| Mini DIN 4 pin  | S VIDEO 信号 | S-VIDEO | |
| RCA  | Y Pb Pr Y Cb Cr コンポーネントビデオ信号 | Y Pb Pr Y Cb Cr | “COMPONENT”の併記は メーカー任意とする |
| HDMI  | HDMI | (備考参照) | HDMI Lincensing, LLC のガイド ラインに準拠すること |
| DisplayPort  | DisplayPort | (備考参照) | VESA のガイドラインに準拠する こと |

| 対象 | 対応信号 | 表記方法 | 備考 |
|---|--------|--|--|
| Stereo mini jack  | 音声入力信号 | AUDIO AUDIO IN | 複数の音声用端子の グループ表記でも可とする |
| RCA  | 音声入力信号 | AUDIO AUDIO L R AUDIO IN AUDIO IN L R | ① 複数の音声端子の グループ表記でも可とする ② Audio, IN, L, R の組み合わ せ、表記方法はメーカー任意 とする ③ モノラルの表記は メーカー任意とする |
| Stereo mini jack  | 音声出力信号 | AUDIO OUT | 入力用端子と出力用端子の区 別がつくような表記を用いること |
| RCA  | 音声出力信号 | AUDIO OUT AUDIO OUT L R | 入力用端子と出力用端子の区 別がつくような表記を用いること |
| RJ-45  | ネットワーク | LAN | |
| Stereo mini jack  | リモコン制御 | REMOTE | |

3.4.2. 日本語表記

| 対象 | 対応信号 | 表記方法 | 備考 |
|--|------------|--------|-------------------------------|
| Mini D-sub 15 pin  | コンピュータ入力信号 | コンピュータ | |
| Mini D-sub 15 pin  | コンピュータ出力信号 | モニタ出力 | |
| DVI-D  | DVI (デジタル) | DVI-D | 端子の種類がわかるように “-D”の表記を省略しない |

| 対象 | 対応信号 | 表記方法 | 備考 |
|---|------------------------------------|--|--|
| DVI-I  | DVI (アナログ/デジタル) | DVI-I | 端子の種類がわかるように “-I”の表記を省略しない |
| RCA  | コンポジットビデオ信号 | ビデオ | |
| Mini DIN 4 pin  | S VIDEO 信号 | S-ビデオ | |
| RCA  | Y Pb Pr Y Cb Cr コンポーネントビデオ信号 | Y Pb Pr Y Cb Cr | “コンポーネント”の併記は メーカー任意とする |
| HDMI  | HDMI | (備考参照) | HDMI Licensing, LLC のガイド ラインに準拠すること |
| DisplayPort  | DisplayPort | (備考参照) | VESAのガイドラインに準拠するこ と |
| Stereo mini jack  | 音声入力信号 | 音声 音声入力 | 複数の音声用端子の グループ表記でも可とする |
| RCA  | 音声入力信号 | 音声 音声 左 右 音声 L R 音声入力 音声入力 左 右 音声入力 L R | ① 複数の音声端子の グループ表記でも可とする ② 音声, 入力, 左, 右, L, R の 組み合わせ、表記方法はメ ーカ任意とする ③ モノラルの表記は メーカー任意とする |
| Stereo mini jack  | 音声出力信号 | 音声出力 | 入力用端子と出力用端子の区別 がつくような表記を用いること |
| RCA  | 音声出力信号 | 音声出力 音声出力 左 右 音声出力 L R | 入力用端子と出力用端子の区別 がつくような表記を用いること |

| 対象 | 対応信号 | 表記方法 | 備考 |
|---|--------|--------------|----|
| RJ-45  | ネットワーク | LAN | |
| Stereo mini jack  | リモコン制御 | リモート リモコン | |

3.5. 本体のインジケータ

※ 本体の状態、注意、警告、異常には、以下のインジケータの表記を使用する。

※ 複数のインジケータを組合せて使用することも可とする。

3.5.1. 英語表記

| 表記 | 概要 |
|---------|------------------------|
| POWER | 電源に関する状態、注意、警告、異常の表示 |
| LAMP | ランプに関する状態、注意、警告、異常の表示 |
| LIGHT | 光源に関する状態、注意、警告、異常の表示 |
| TEMP | 温度に関する状態、注意、警告、異常の表示 |
| WARNING | 警告、異常に関する表示 |
| STATUS | 本体に関する状態、注意、警告、異常の表示 |
| FILTER | フィルタに関する状態、注意、警告、異常の表示 |

3.5.2. 日本語表記

| 表記 | 概要 |
|------|------------------------|
| 電源 | 電源に関する状態、注意、警告、異常の表示 |
| 光源 | 光源に関する状態、注意、警告、異常の表示 |
| 温度 | 温度に関する状態、注意、警告、異常の表示 |
| 警告 | 警告、異常に関する表示 |
| 状態 | 本体に関する状態、注意、警告、異常の表示 |
| フィルタ | フィルタに関する状態、注意、警告、異常の表示 |

3.6. メニューに表示される機能

※ 表示スペース等に不都合がある場合に限り、メーカー任意の省略形の記載も可とする。

※ 定義された表記では不十分な場合に限り、メーカー判断により前後に単語あるいはその省略形の付加も可とする。

3.6.1. 英語表記

| 機能概要 | 表記方法 | 備考 |
|--------------------|----------------------------|----------------------------------|
| 映像の画質を調整 | PICTURE MODE COLOR MODE | “COLOR MODE”は MODE の表記を省略しない |
| 映像のコントラストを調整 | CONTRAST | |
| 映像の明るさを調整 | BRIGHTNESS | |
| 映像の色の濃さを調整 | SATURATION COLOR | |
| 映像の色あいや色相を調整 | TINT HUE | ① “TINT”は色あいを指す ② “HUE”は色相を指す |
| 映像のシャープネスを調整 | SHARPNESS | |
| 映像のガンマ特性を調整 | “GAMMA”を含んだ表記 | |
| 映像の色温度を調整 | COLOR TEMPERATURE | |
| 映像の外周部の表示範囲を調整 | OVERSCAN | |
| 映像のノイズ除去効果を調整 | NOISE REDUCTION | |
| メニューの表示位置を設定 | MENU POSITION | |
| 映像調整のためのテストパターンを表示 | TEST PATTERN | |
| アイリス（絞り）機構を設定 | “IRIS”を含んだ表記 | |
| メニューなどの表示言語を設定 | LANGUAGE | |

| 機能概要 | 表記方法 | 備考 |
|---------------------|-----------------|----|
| 電源待機状態の動作を設定 | “STANDBY”を含んだ表記 | |
| メニューに表示される機能の設定を初期化 | “RESET”を含んだ表記 | |
| 標高の高い場所での使用時に設定 | HIGH ALTITUDE | |
| フィルタに関する表示を設定 | FILTER MESSAGE | |

3.6.2. 日本語表記

| 機能概要 | 表記方法 | 備考 |
|--------------------|----------------|----|
| 映像の画質を調整 | 映像モード 画質モード | |
| 映像のコントラストを調整 | コントラスト | |
| 映像の明るさを調整 | 明るさ | |
| 映像の色の濃さを調整 | 色の濃さ | |
| 映像の色あいや色相を調整 | 色あい 色相 | |
| 映像のシャープネスを調整 | シャープネス | |
| 映像のガンマ特性を調整 | “ガンマ”を含んだ表記 | |
| 映像の色温度を調整 | 色温度 | |
| 映像の外周部の表示範囲を調整 | オーバースキャン | |
| 映像のノイズ除去効果を調整 | ノイズリダクション | |
| メニューの表示位置を設定 | メニュー位置 | |
| 映像調整のためのテストパターンを表示 | テストパターン | |

| 機能概要 | 表記方法 | 備考 |
|---------------------|--------------|----|
| アイリス（絞り）機構を設定 | “アイリス”を含んだ表記 | |
| メニューなどの表示言語を設定 | 言語 | |
| 電源待機状態の動作を設定 | “待機”を含んだ表記 | |
| メニューに表示される機能の設定を初期化 | “初期化”を含んだ表記 | |
| 標高の高い場所での使用時に設定 | 高地 | |
| フィルタに関する表示を設定 | フィルタ通知 | |

3.7. 電源操作に関する機能

※ 記載スペースに不都合がある場合に限り、メーカー任意の省略形の記載も可とする。

※ 定義された表記では不十分な場合に限り、メーカー判断により前後に単語あるいはその省略形の付加も可とする。

3.7.1. 英語表記

| 機能概要 | 表記方法 | 備考 |
|----------------------------------|------------------------|---|
| 電源コードを接続するだけで電源がオンする機能 | “DIRECT”および“ON”を用いた表記 | “AUTO”および“ON”を用いた表記でも構わない |
| 投写中でも、電源オフの操作を行わずに、電源コードを抜ける機能 | “DIRECT”および“OFF”を用いた表記 | ① “QUICK”を用いない ② “OFF”の代わりに SHUTDOWN など電源オフを示す単語を用いても構わない |
| 電源オフの操作を行いクールダウン実行中でも電源コードを抜ける機能 | “QUICK”および“OFF”を用いた表記 | ① “DIRECT”を用いない ② “OFF”の代わりに SHUTDOWN など電源オフを示す単語を用いても構わない |

3.7.2. 日本語表記

| 機能概要 | 表記方法 | 備考 |
|----------------------------------|----------------------|--|
| 電源コードを接続するだけで電源がオンする機能 | “ダイレクト”および“オン”を用いた表記 | “オート”および“オン”を用いた表記でも構わない |
| 投写中でも、電源オフの操作を行わずに、電源コードを抜ける機能 | “ダイレクト”および“オフ”を用いた表記 | ① “クイック”を用いない ② “オフ”の代わりにシャットダウンなど電源オフを示す単語を用いても構わない |
| 電源オフの操作を行いクールダウン実行中でも電源コードを抜ける機能 | “クイック”および“オフ”を用いた表記 | ① “ダイレクト”を用いない ② “オフ”の代わりにシャットダウンなど電源オフを示す単語を用いても構わない |

3.8. 投写画面のアスペクト比に関する機能

- ※ 本箇条で述べる投写画面とは、台形補正などソフトウェア処理がなされている場合には、その処理後の画面を指す。
- ※ 記載スペースに不都合がある場合に限り、メーカー任意の省略形の記載も可とする。
- ※ 定義された表記では不十分な場合に限り、メーカー判断により前後に単語あるいはその省略形の付加も可とする。

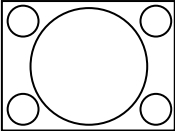
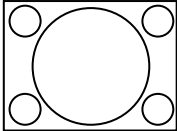
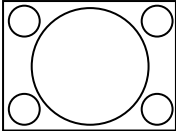
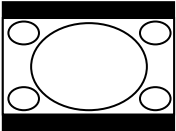
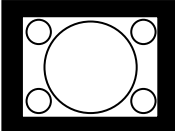
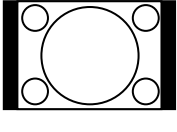
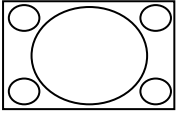
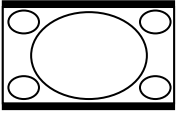
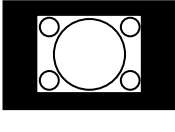
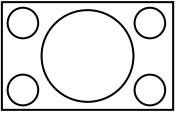
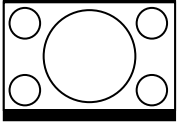
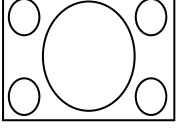
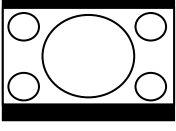
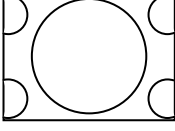
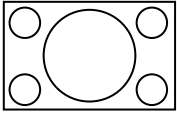
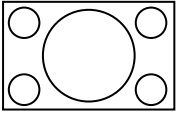
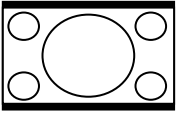
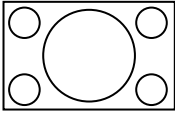
3.8.1. 英語表記

| 機能概要 | 表記方法 | 備考 |
|--|----------------------------|-----------------------|
| 入力映像のアスペクト比を維持したまま、縦辺あるいは横辺いっぱいに投写する設定 | NORMAL AUTO | |
| 入力映像を投写画面全体に投写する設定 | FULL X : Y(投写映像のアスペクト比) | X(横)および Y(縦)は数値にて表記する |
| 入力映像をワイドの比率で横辺いっぱいに投写する設定 | WIDE X : Y(投写映像のアスペクト比) | X(横)および Y(縦)は数値にて表記する |
| 入力映像の解像度を維持したまま、投写する設定 | NATIVE TRUE | |

3.8.2. 日本語表記

| 機能概要 | 表記方法 | 備考 |
|--|---------------------------|-----------------------|
| 入力映像のアスペクト比を維持したまま、縦辺あるいは横辺いっぱいに投写する設定 | ノーマル 標準 オート 自動 | |
| 入力映像を投写画面全体に投写する設定 | フル X : Y(投写映像のアスペクト比) | X(横)および Y(縦)は数値にて表記する |
| 入力映像をワイドの比率で横辺いっぱいに投写する設定 | ワイド X : Y(投写映像のアスペクト比) | X(横)および Y(縦)は数値にて表記する |
| 入力映像の解像度を維持したまま、投写する設定 | リアル | |

3.8.3. 投写画面のアスペクト比設定例

| 入力信号 | 製品 | NORMAL | FULL | WIDE 16 : 9 | NATIVE |
|---|------------|--|--|--|--|
|  800 x 600 | 1024 x 768 |  |  |  |  |
| | 1280 x 800 |  |  |  |  |
|  1280 x 800 | 1024 x 768 |  |  |  |  |
| | 1280 x 800 |  |  |  |  |

4. 運用規定

2014 年(平成 26 年) 7 月 1 日に第 4 版を制定し運用を開始する。

会員各メーカーでは、本ガイドラインを迅速に適用すべく努力することとする。

また、非会員メーカーに対しても、本ガイドラインが適用されるよう働きかけを行い、本ガイドラインに沿った表記がされるように推進する。

5. 解説

市場には国内外のメーカーから多くのデータプロジェクターが投入され、操作される機会が飛躍的に増えている。一方でデータプロジェクターの表記がメーカーや製品で統一されていないところが散見され、設置や操作の現場において、ユーザの利便性が大きく損なわれていることが予想された。

このような背景から本ガイドラインを制定し、表記の統一化を推進してきた。第4版ではプロジェクターのメニューに表示される機能の名称等を追加し、改訂するものである。

本ガイドラインで推奨する表記が各メーカーで適用されることで、多くのユーザがデータプロジェクターを戸惑うことなく操作できることを期待する。

なお、本ガイドラインはすべての表記についての統一を目指すものではなく、多くのデータプロジェクターで共通に使用されていると考えられる表記について規定したものである。プロジェクター用語分科会では、ユーザの利便性を高めるために今後も継続的に活動する方針である。

6. 商標について

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の登録商標または商標です。

DisplayPort、DisplayPort Certified Logo、VESA、VESA logo は、Video Electronics Standards Association の登録商標です。

7. 改訂履歴

初版 2007 年(平成 19 年) 8 月

第 2 版 2010 年(平成 22 年) 2 月

- 日本語による表記追加
- 3.3 本体のインジケータにフィルタを追加
- 3.4 機能名称追加

第 3 版 2011 年(平成 23 年) 11 月

- 3.1 取扱説明書類における本体の部位を追加
- 3.2 取扱説明書類における付属品を追加
- 3.4 本体の信号入出力端子に DisplayPort を追加
- 3.5 本体のインジケータに LIGHT を追加
- 3.6 および 3.7 第2版までの機能名称を分割し、機能ごとに箇条項目を設定
- HDMI、DisplayPort について、各規格団体のガイドラインに従うように変更

第 4 版 2014 年(平成 26 年) 7 月

- 3.1 取扱説明書類における本体の部位にケーブルカバー、フィルタカバーを追加
- 3.3 本体およびリモコンの操作ボタン類にメニューを追加
- 3.6 メニューに表示される機能を追加

データプロジェクター部会委員 構成表 (50 音順・敬称略)

| | | |
|------|--------------------------|-------|
| 部会長 | 日立マクセル株式会社 | 加藤 実 |
| 副部会長 | セイコーエプソン株式会社 | 平島 聡史 |
| 副部会長 | パナソニック株式会社 | 枡本 吉弘 |
| 委員 | NEC ディスプレイソリューションズ株式会社 | 工藤 芳久 |
| 委員 | カシオ計算機株式会社 | 深野 和靖 |
| 委員 | 株式会社リコー | 田中 芳樹 |
| 委員 | キヤノン株式会社 | 八代 達郎 |
| 委員 | キヤノン株式会社 | 細貝 恵 |
| 委員 | シャープ株式会社 | 佐藤 康人 |
| 委員 | ソニー株式会社 | 若井 幹恭 |
| 委員 | マイクロソリューション株式会社 | 金子 昭徳 |
| 事務局 | 一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 | 篠原 正志 |

プロジェクター用語分科会委員 構成表 (50 音順・敬称略)

| | | |
|-------|--------------------------|-------|
| 分科会長 | ソニー株式会社 | 宇田 明博 |
| 副分科会長 | カシオ計算機株式会社 | 佐野 輝雄 |
| 委員 | NEC ディスプレイソリューションズ株式会社 | 山本 文博 |
| 委員 | 株式会社リコー | 長尾 壮史 |
| 委員 | キヤノン株式会社 | 宮地 剛司 |
| 委員 | セイコーエプソン株式会社 | 名取 孝 |
| 委員 | シャープ株式会社 | 川村 浩士 |
| 委員 | パナソニック株式会社 | 野元 守 |
| 委員 | 日立マクセル株式会社 | 遠藤 俊彦 |
| 事務局 | 一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 | 篠原 正志 |